常磐毎日新聞

九月十四日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
[illegible]
發行所 常磐毎日新聞社 [illegible]
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 [illegible]

天氣豫報
今晩も明日も南の風晴一時曇

多額議員の違反事件
平地方に飛火
福島の伊東檢事が昨夜忽かに來平す
肅選の聲高い縣議戰の折柄
當局斷乎として檢察網擴大

福島檢事局伊東檢事は昨十三日夜鈴木書記を從ひ來平、今十四日早朝から平檢事局へ某々知名の士を召喚取調べを行つてゐる、これは去る十日執行された多額議員選擧にからまる某派の違反事件が遂に平地方へも飛火したものらしいが肅選の聲を大にしつゝある縣議戰の眞最中の事とて當局も徹底的に剔抉するものとみられ今後の發展性は各方面から注目されてゐる

平署選擧相談所に特設の電話を設置

平署では選擧の白熱化に伴ひ各選擧事務所から質疑の問合せが殺到するので特高室の特設した選擧相談所に臨時電話を取りつけた、番號は平署の電話と同樣七十四番だが特に『特高室』と呼べば選擧相談所に通じる事になつて居る

小野上等兵聲なき凱旋

既報前線で散華した小名濱出身故小野保上等兵の英靈は十六日午後五時五分泉驛着列車で聲なき凱旋をする

飯野八幡祭禮賑ふ

武人の神として知られてゐる平市鎭守飯野八幡神社の大祭は今十四日から明十五日にかけ執行されるが出征將士の武運長久祈願や十五日の流鏑馬見物で參詣人の雜沓に非常な賑ひを呈すものと豫想さる尚市内各學校は何れも休校して祝意を表した

遺族指導員の
實地調査が始る

既報、この程縣知事から囑託された撥楢小路阿部コトさん、胡摩澤有馬秀子さん、四丁目久野ひさ子さん、下平窪石井富智子さんの平市遺族指導員は戰歿者遺族の伴侶として又處世の道しるべとして愈々活動を開始することゝなり近く各區長其他關係者と連絡をとり遺族の實地調査に乘出すことゝなつたが遺族達も指導員の活動に多大の期待を寄せてゐる

感激の獻金

植田町字本町菅野仙治さん(五[illegible])は過般の防空訓練に家庭防空群長として活躍表彰されたがいたく感激この程金百圓を國防獻金として植田署に寄託した

木炭の値上に
「平署の眼光る」

昨報木炭の公定價格引上げと共に平市内をはじめ地方の木炭商はこれを機會に値上げを斷行する氣配を見せ買あせりの一方賣惜しみをはじめたので平署では各家庭のお臺所への影響を考慮し理由なき値上れを抑制すること

縣會議員候補者一覽表（屆出順）

候補者	年齢	黨派	職業	事務所	事務長	電話番號
▲野崎滿藏	(五九)	民現	自動車業	平市田町一〇	山野邊義政	平二二六
▲關内正一	(四三)	政現	油類販賣業	平市二丁目二六	多田井笑次郎	平二八七
—以上平市(定員一名)——以下郡部(定員六名)—						
▲蓮沼龍輔	(四八)	政現	新聞社長	平市田町一九	渡邊清	平二八二
▲齋藤晃	(三八)	發新	醬油醸造業	湯本町天王崎四四	高木秀雄	湯本五七
▲木村守江	(四〇)	政新	醫師	四倉町本町一一八	門馬拾次郎	四倉一一一
▲荻原義雄	(五二)	民元	齒科醫師	平市鍛冶町一六	吉田寅之輔	平二五九
▲草野三郎	(四〇)	民現	農業	平市才槌小路一	鈴木盛之助	平七九九
▲大井川正巳	(三七)	民新	雜貨商	湯本町三函八〇	平子玉男	(呼)湯本二四
▲小野晋平	(五五)	政現	酒造業	小名濱町中明神町二	水野政次郎	(呼)小名濱四七一
▲蛭田虎次郎	(五九)	民新	製材業	湯本町天王崎二	川崎善彌	(呼)湯本六二
▲坂本總太郎	(六[illegible])	民新	醬油醸造業	植田町澁川	成瀨巳三	植田一一〇
▲赤津庄兵衛	(五五)	政新	呉服商	植田町本町	山崎登	(呼)植田三一

になつた

勿來驛の石炭積出
昨年より增加

勿來川部方部の炭礦界は坑夫不足に惱まされながらも增産計畫を遂行、勿來驛から積み出した八月分の炭量は一萬七千六百二トンで昨年より三千百七十三トンの增を示したが本年一月から八月までの積み出量も十六萬一千二百四十六トンで昨年の同期に比べ三萬一千二十九トン增加してゐる

被害者が遂に死亡
酒の匕首事件

既報飲酒中些細のことから口論をはじめ懷ろにしてゐた匕首で頭部を突刺し瀕死の重傷を負はせた内郷村白水入山炭礦川平坑々夫小野十郎(二[illegible])にかゝはる傷害事件は明十五日平區裁木下判事係りの下に公判開廷されることになつたがこれを前に治療中の被害者小野爲吉さん(四[illegible])が昨十三日夜死亡したので今度は傷害致死罪で處理される模樣である

騎乘會の遠乘り
來る廿日に出場廿頭

平騎乘會では來る二十日遠乘り會を催すことになり目下準備を進めてゐるがコースは左の如く出場馬は二十頭を豫想されてゐる

午前七時市役所前出發神谷、草野、大浦、四倉を經て大野村玉山に至り休憩後小川村廻りで歸平

流行病の防疫に
保菌の檢査勵行
水道從業員と歸還者

平署衛生課では流行病猖獗に備へ目下防疫の徹底を期し全力を傾倒してゐるが今後が蔓延の節とてこれが豫防對策として水道從業員の保菌檢査を每月一回勵行するほか滿洲及び北支よりの歸鄉者に對しても保菌檢査を施行することになつた

女店員の養成講習

平職業紹介所では軍需事業方面への轉出による商店員の手不足を補ふため女店員の養成を目指し十月一日から二週間同所樓上で每夜六時から八時まで二時間づつ講習會を開催することになつたが修了者は同所で斡旋各商店へ振向ける筈である

銃後奉公
明日役員會

平市銃後奉公會の役員會は明十五日市役所で開かれる

泉村役場
落成式擧行

既報、工費六千九百圓を投じ泉村小學校北側に新築中の敷地百八十坪、建坪七十八坪二階建の同村役場は殆ど完成本月末に落成式を擧行することになつた

三百圓
片倉の廢品回收
奉公會へ

片倉製糸磐城工場では廢品回收を行つて得た金三百圓を十三日今井所長が代表平市軍事奉公會へ寄附した

東部滯在三日の獲物（一）

小名濱支局通信

支局長 小野務平

▽立花雄七君の健康回復△（上）

去る十日、日曜を利用して社用と私用とを持つ記者は午前六時自宅を出發の豫定が來客や不在中の原稿などの責を塞く爲めに遂に七時となり八時と延び果ては十時半と云ふ始末となり多少、神經氣味の山の神には何時にもない不氣嫌で送り出さるゝと云ふ面白くもない首途も常に出歩き勝ちの記者には萬事は神の攝理と大悟の上に輕裝の儘やつと時間に間に合せて泉行きの自動車に飛び乘つた

小名濱町は恰も支局前から鋪裝工事が着手したので通行を禁止して居る關係から遂に變な處から出發する爲めに厭ながらこゝまで足を運ばねばならぬ浮目を見るに至つたのは蓋し記者のみでない筈である、元來着手前に於て縣土木部の出張所主任の岡技手の談では交通頻繁な本通りは一寸手間は掛るが片側宛着手して工事の爲めには通行を杜絶するが如き事はないと言明したのに對して此仕打ちは甚だ以て氣に喰はぬがこれも施工する官廳の都合となれば矢張り啼き寢入りと云ふ形だらう兎角此始末で自動車も迂回して本町通りを遮斷され裏通第二と三區の横町に出て本町通りに出拔けると云ふのだから本町に尻を構ふ各商店は滾すに滾さぬ所でなく喧嘩腰でお門違ひの軌道會社に故障を持ち込むと云ふ珍風景を呈して居る

所が亦嘗て自動車など(バス)夢にも考へて居ない裏通りが軒下から呼びかけて飛び乘れると云ふ盆と正月が一緒に到來した喜びに咽んで居る所も出來た、總て半面が好ければ半面が惡いと相場は極つて居る事が判れば此れも神の攝理と諦め自然の裁きに服從すると云ふ所まで大悟の必要があるか否かを考へたい

幾多滾す乘客の談しを聞きながら自動車は泉驛に着き十一時三分泉驛發で上野に向つた。素々此行は帝大病院に數ケ月の病を養つて居る親友立花雄七君の其後の消息を知り更に平舊藩主安藤子爵に面會と更に亦縣社八幡神社の社掌として永代奉仕された飯野家の後裔飯野保氏に會ふと云ふ種々の用件を帶びての上京である事は久しい以前からの懸案であつた立花君には令弟秀吉君から依賴された令兄雄七君への屆け物を預り、子爵閣下には菅沼市長の紹介狀を有し飯野君には小野町長からの親戚關係から此れのみが素顏で面會が出來る間柄である事が何よりの僥倖の一つであつた

（續く）

植田繭市
晩秋繭取引

植田繭市場の晩秋繭初取引は十月三日頃開始されるが總收繭量は昨年より三千貫増の一萬二千貫を豫想され相場も平均初秋繭より一圓五十錢高の見込み

雜費を節約

錦村

錦村字中田鹽常藏君は過般の壯丁檢査で甲種合格となつたが當時一切の雜費を節約した金ですがとこの程金五圓を同村小學校に寄附した

野崎派今晩の
演說會を延期

縣議候補者野崎滿藏氏の政見發表演說會は今十四日午後六時から長橋町性源寺、古鍛冶町松堂院の兩所で開催する筈であつたが今晩は八幡神社の宵祭りであるところから遠慮して十六日午後六時開會に延期した

社告

明十五日は縣社飯野八幡神社祭禮の爲め恒例に依つて休刊仕り候間御諒承願上候

昭和十四年九月十四日

常磐毎日新聞社

蒙疆の巡査

蒙疆警察官の採用試驗は十月三日仙台市で執行されるが資格及び試驗科目は左の如く詳細は最寄警察署へ問合せられたい

△資格
1、年齢滿二十才以上滿二十八才以下
2、學力—高等小學校卒業程度
3、體格—身長一五八米以上、體重五〇瓩以上
4、成る可く軍隊の經驗を有する者

△科目—國語、算術、作文、日本歷史、人物考査、身體檢査

尚採用者は警士として四ケ月間の教養を行ひ卒業と共に警長に昇進俸給は教養期間中月俸七十五圓卒業後同百二十一圓給與せらる

チフス蔓延

勿來

勿來町字窪田金子英吉氏妻ミツヨさん(三七)川部村字小川小林まつさん(五二)の兩名はこの程チフスと診定隔離された

球技大會
植田方部で

植田方部小學校の球技大會(高等科排球、尋常科撥球)は二十六日山田小學校で擧行される

平市人事

出生

△二丁目六目下東京市小石川區大塚坂下町一四七石川周一郎氏四男博美君

△下平窪字八木内三目下大連市清見町一四三草野利男氏長男公男君

婚姻

△東京市荒川區尾久町八ノ一三八一蛭田丑次郎氏(三七)鍛冶町九小林さださん(二二)

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間「不思議問答」
▼後六、二五 講演「貯蓄債券の話」日本勸業銀行總裁石井光雄
▼後七、三〇 國民歌謠
▼後七、四〇 ラヂオ小說「興亞の黎明」
▼後八、三〇 特輯講演 躍進日本の產業

明日の部

▼前九、四五 幼兒の時間「童謠物語」夕やけ小やけ
▼前一〇、〇〇 家庭メモ
▼前一〇、二〇 家庭の時間「消費節約と臺所經濟」
▼後〇、〇五 新日本音樂
▼後二、〇〇 小學生の時間(高學年)「空中戰鬪に參加して」陸軍航空大尉高梨辰雄
▼後三、〇〇 婦人支那讀本「文化藝術」竹内夏積
▼後三、三〇 教師の時間「家庭教育振興と小學校母の會について」小田成就
▼後六、〇〇 子供の時間(天體探檢物語)童話劇「木星から土星へ」大阪科學研究會
▼後六、二五 講演「日本古典の再認識」藤村作
▼後七、三〇 講演—日比谷公會堂滿洲國承認記念日祝典會場より中繼
▼後八、〇〇 管絃樂
▼後八、三〇 浪花節「霧の佐太郎」荻原四郎作 木村友衛

キネマ

△世界館—松竹大船超大作田中絹代、桑野通子上原謙、佐分利信主演「愛染かつら(續)」高山廣子、大友柳太郎主演「實說佐渡おけさ」海江田讓二主演「明月神田祭」外ニュース

△聚樂館—東寶映畫超大作長谷川一夫、山田五十鈴、花井蘭子、黑川彌太郎他オール、スター「喧嘩鳶(前篇)」極東キネマ作品雲井龍之介美島麗子他オールスター「神速一番隊」高田稔千葉早智子主演「鐵の兄弟」外ニュース

△平館—瀧花久子、近松里子、山本禮三郎主演「妻の友情」フオックス映畫グレンモリス、イルアホーム主演「大ターザン」嵐寛壽郎主演「鞍馬天狗江戶日記」外ニュース

植田收納所

植田

町の煙草收納所並に同町煙草元賣捌所建設地鎭祭はこの程行はれた

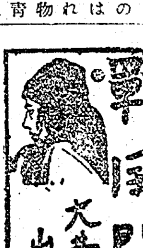
縣會議員候補者
立憲民政黨公認
野崎滿藏政見發表演說會
城山會館
九品寺
十五日午後六時
辯士
市會議員 佐藤幸太郎
辯護士 山野邊義政
本部特派員 平田鶯堂
候補者 野崎滿藏
責任者 平市字田町四七山野邊義政

エタニツトパイプ
鐵管代用

	耐壓封度	内經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

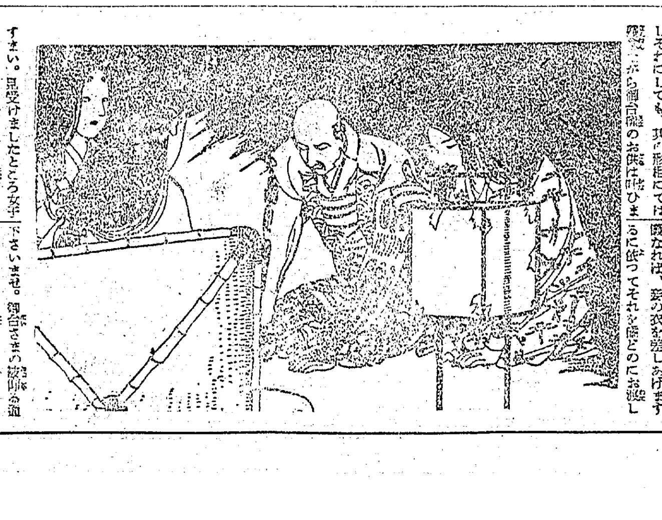
平市仲町通り
山田文一商店
電話262番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◈堅實は營業方針の サロンのお客は當地樣一流の方々です
◈色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◈定評ある サロンの調理法を御傳授いたします
◈見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◈14歳以上30歳迄の健康な方…
◈3年以上勤續出來る方…
◈親權者若くは本人御來談下さい。……
平市銀座街
電話592
サロン



戰國間諜傳
大井沢一龍作
山科一郎畫

第七十五回
夏の一夜（二）



刑部卿の局がいくら皮肉つても、それは最初から承知の櫻右衞門。千姫が何んとか云ふまでは、いくらでも押しの一手で行くつもりでゐた。

「いや、それは御挨拶無用、御一獻の盃から不調法受けました節は感にすぐ出開き仕る。その成敗も胸中に御座りますれば、凡て家老にまかせあつて、只何んとかして此寒のうちにお暇へ下さりませ[illegible]」

局は冷たく微笑んで

「それやお前さまがお引受けとあらば御念も御座りますまいが、併しそれにしても、其の形相にては婦女子から御台様のお供は叶ひますまい。見受けましたところ女子にして女子の姿ならず、體をつけぬだけの武者裝束、敵の鐵兵どもがその姿を見たら何んと思ひませう。胡亂な小癪者と見てとつて有無を言はさず取つて押へ、陣屋に引立てられでもしたら、それこそ陣中のつれ〴〵のよい慰物、飛んだ恥をかゝされまする。左樣な仕儀と相成つても家老には立派に申開きの道があると仰せられまするか」

これでは流石の家老も云ひ樣がないだろうとばかり刑部卿の局はさも誇らしげにチロリと櫻の姿と櫻右衞門の顏を横目で見てニヤリと笑つた。

「いや其處にお前樣にお願ひがあるのぢや」

櫻右衞門のあつかましいその言葉を聞くと刑部卿の局の眉がキリッと上つた。

櫻右衞門はそんなことは委細かまわず言葉を續けて

「さてお願ひと云ふのは、一つの工夫がございます。今宵のうちに衣裳髮かざりを取りかへて、本來自然の女子にかへり、明朝ともなれば、何も知らぬ顏にて供奉の御女中たちの中に立ち交り居るやうに致せば、敵國の者もむつかず[illegible]御殺安く御慰めに叶ふかと思ひまする。その工夫苦勞は何んとしてよ刑部どのゝ……」

「と無雜作に申されましても、それすら差し鬮きの確算、何れも當のみ姿のまゝ無一物にて城を出てまゐりました故に、それなる衞どのにお着せ申す衣一片もなく、又髮を上げる道具、紅白粉女子になくてならぬ身だしなみの品は、一つとして持合せて居りませぬものを」

刑部のその答へには、さすがに櫻右衞門もハタと困りぬいてしまつた。

すると今まで默つてその問答を聞いてゐた侍女が米澤に手をついて

「お局さまに申上げます。左樣な儀なれば、妾の衣を差しあげまするに依つてそれを局どのにお渡し下さいませ。御台さまの被衣の御りかゝる時こそ助け合ふのが人の世の情。少しにてもお役に立てば嬉しふ存じまする」

と申出たのだつた。局は餘計なことを云ふと云はぬ許りに、侍女を尻目にかけて

「おつるどの、お前さまの召物を局どのにお貸しなされたら、お前さまは赤裸にならずばなりますまいがなう。オホヽヽヽ。見苦しや、赤裸のまゝ人中へ出さつしやるお心かへ」

と笑つた。

侍女はにつこりと笑つて

「いえ〳〵赤裸になぞ、妾は、妾は、外にお召ものを持つて居りまする」

「オヤ、まあ此のさなかに着換への衣まで御持參あるとは、てもまあ御用意のよいこと、妾などは御主をお守り申す一念で、それこそ身のみ姿のまゝ、とんと氣がけ働でござりますよな。お若い御方はなか〳〵御殿しな……いつそ小憎いほどに浮びつなどかつがせてお逝れなさらぬのが不思議なくらゐ」

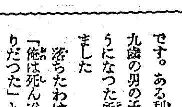
刑部卿の局は自分の云つたことが侍女の差出がましい申出にペチャンコになつたので、こんどは侍女にチクリと皮肉の矢を向け初めた。

―家庭メモ―

鐵びんや湯わかしをしまふ時には一寸火にかけて内部をよくかわかしておくとさびが出ません、もし湯あかがたくさん付いてゐる時にはソーダを入れてお湯をわき立てそのまゝ一晩くらいおいてからあらひますとよくとれます

馬鈴薯の見分方

これから新馬鈴薯が出まわります　馬鈴薯の土色によつて白土物、黒土物などに見分けられますが、これは色合からすぐ見分がつきます　畝立から云ふと白土物の方が上等品で黒土物はゆでると水氣が多いのが[illegible]です　良否の見わかたとしてはやゝ長目で大形の物。小さい物は澱粉が足りません、めのくぼみは淺いのをえらばないと皮をあつくむくようなことになります、[illegible]色を帯びたものは、苦味が強いこれからは新芽をよくとらないと新芽の部分にあてられることがあります



農村の子供

[illegible]子

これは最もいそかしい農村に起つたことです。ある利口でおとなしい九歳の男の子が川でおぼれそうになつた所を運よく救はれました

落ちたわけをきかれると「俺は死んで幽靈に出るつもりだつた」といひそばの母親をちらッとにらんでから物かげに隠れてしまひました。私はこの言葉と目付に慄然としました。

この母親は―この人一人にかぎらぬと私は思つていひますが農事と家事と育兒とのあまりの多忙のためについ子供をガミガミと怒鳴りつけたり打つたりしたのでせう。

子供のにくい母親などありますまいが、子供は表現された愛でなければわからぬものですから「お前など無い方がいゝ」等といふ不用意な言葉を本氣にして、遂には母親に對して腕一ぱいのうらみをもつやうになるのです。

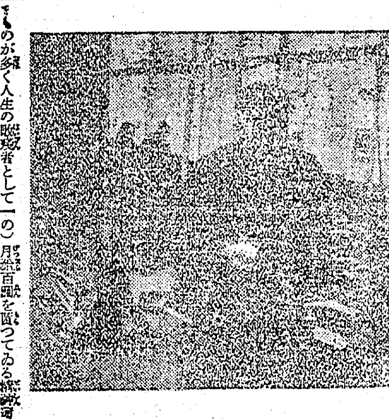
知的にとやかく言はれる農村婦人は、殊に、既に子供の愛のみにも、このやうな事例が起らぬやうに十分賢くありたいものです。たとへ着物は[illegible]はなくても、愛をもつて子供を注意深く觀察し、たえず頭を働かす事によつていくらでも賢い母親になれるのです。

馬鹿が月給百圓とる
智能こそ劣るが立派に役立つ勞力
保護と指導で生産戰線へ

世に馬鹿につける藥はないなどといはれますが、親もさじをなげ、學校の先生も腕をこまねいてながめてゐるよりほかない低腦兒といふものは、おそらく小學校のどの學級にも六、七人はゐるでせう。白痴ほどではないが、これについで智能がひくゝ魯鈍、愚鈍を以てよばれるこれらの兒童は、何うにもしやうことなく義務教育だけは終へますが、學校を出てからまつ彼等の運命は？今日までの例からいふと、浮浪、窃盗、賣淫、放火殺人などの犯罪や不良行爲をなすものが多く人生の脱落者として終つてゐる者が少くありません

先頃、日本心理學會の人々が精神薄弱者の保護と並にこれが積極的な利用厚生につき、政府に要望するところがあつたのは時節から大いに注目されます。その要望の内容は、治療教育、精神病院、兒童研究所、精神衛生相談所などの精神薄弱者保護のために必須の施設をまうけ、これによつて作業教育を主とした職業教育をさづけるとゝもに、[illegible]的の[illegible]を行ふ。その結果は一般で使ひ道がないと思はれる彼らが、工場作業のうち簡單なものなら、普通の職工に負けぬくらい立派にやつてのけるやうになる、そこで時局下勞働力の不足が傳へられてゐる際、精神薄弱者を積極的に利用すべしといふのであります。

實際に精神薄弱者が時局の人として活躍しつゝある例も少くありません。最近、勞働科學研究所の桐原博士は、次のやうにその實例を報告されてゐます。勞働能力が普通の職業とちつとも變らじ仕上げ工として（もつとも磨くだけのもの）月給百圓を貰つてゐる精神薄弱者がある。月に五十圓程度をとつてゐるものなら多い。彼等は尋常二三年生の智能しかない。これは工場の指導者が實にうまく彼らの適性を見出したゝめの成功で、おばしつた人間なら馬鹿々々しくてやれぬやうな單調な、しかし重要さにおいて變りない仕事につけてやつたからです。學校の成績（智能）こそ劣りはするが、職業や生活上の能力では、精神薄弱者どころか、いはゆる常識が内際百點をとるなどとは、聞かされるわれわれがはずかしいくらいのものです。十四歳以下で七十五萬人、大人もいれると九十萬人もわが國にゐるといはれる多數の精神薄弱者が、この時局に一と役果す事ができるといふのは、非常に喜ばしい事ではありませんか



美人は夜作られる
お菓子よりは果物を食べて　十分な睡眠と適當な運動を
戰時向きの新美容法

電髪やマニキュアをはじめ一切の目を惹く外的な美容法はこの際非難の的となりがちです。しかし女性が醜くなる事を誰が望むでせう。戰時下の美容は外部からではなく、宜しく内部からすべきだと思ひます。内部からの美容法といふのは……第一に心身を過勞させぬことです。内臓がひどく疲れ、心に憂悶がある人をどうして美しいと見ることができませう。心身を過勞させぬためには十分の睡眠をとる事です。よくねむれた朝の晴々した氣持、つやゝかな皮膚の色……美人は夜つくられるともいはれませう。次には適當な運動が必要ですが運動して汗をかくことは皮膚の働きをよくし、これを美しくさせる何よりの要訣です。汗をかくために少々の日やけを恐れてはなりますまい、むしろこれをほこりとし、美しいと感じませう。食物は含水炭素の過食をいましめるのが何よりです。含水炭素の過食は皮膚の細菌に對する抵抗を弱くします。その結果ニキビなどができやすくなります。だからニキビができやすい人は、甘いもちがしなどは極度に制限する必要があります。更に皮膚を積極的に美しくするにはビタミンCを補ふのが大切です。つまり「菓子よりは果物を食べ」といふ事になります。ビタミンCはすでにご承知のやうに生の果物や野菜に多く含有されてゐます。そしてこのビタミンCはまた日やけを防ぐ作用があるので、殊に日にやけやすい人は努めて果物をめし上るべきです、最初にコーヒーのやうな刺戟性の飲料は禁ずべきで殊にニキビのできやすい人はさうです

ワサビの上手な卸し方

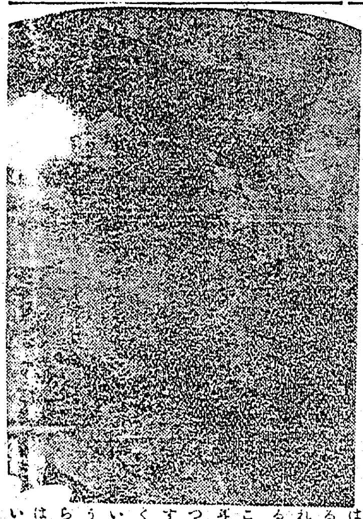
ワサビをおろすのによくそのまゝ根の方からおろす方がありますが大根やごぼうと同じことで尻尾はどうしても味がおちますし辛みも少いものですから、最初さかさまにして皮をむき、葉付きの方からおろし金にかけるのが宜しうございます。おろし金は目のこまかい方の面を用ひる事、力を入れないで輕く、くるくる廻すやうにしておろす事、目のあらい方でごしごし力を入れて荒つすぐにおろしては折角の辛味も殆ど利かなくなつてしまひます

夏痩せぬ様うんと食ふ
こんなのは不合理
夏は冬の二倍のヴイタミンを！

「キミ、しばらく會はん内に隨分スマートになつたね」などといふ會話は非常時らしくありません、一體夏にまけるなんて申しわけない話ですそこで夏やせ豫防法を慶應病院杉野醫學士氏におうかがひしてみませう

夏になると濕度は[illegible]する、[illegible]濕度は高くなるので體の中の水分が發散しにくゝなつて來て胃腸の働きが鈍ることなるのです、そこで榮養を吸收する働きがすくなくなつて食慾の衰退がおち、一方また消化不良、胃腸疾患が多くなるのですそこでその豫防法ですが、やせるからと云ふので無理にたくさん食べるのは却て胃腸に充血を來して下痢やはきけを來たしこの豫防とはなりません

（一）皮膚を清潔にすること、毛穴をきれいにし體内の水分が發散しやすくすることです、從つて汗は早く拭ひとり血液の循環をよくするのです、かうすると胃腸の活動がよくなります、（二）運動不足となり血液の循環がわるくなります、殊に乳兒の場合には手足などをかるく動かしたり腹部のマッサージ、體を浴後に摩伸する乳兒體操をしていただきたいものです（三）飲食物に氣をつけること、くさりかけてゐないでも、くさりかけてゐるものをたべると胃の中で醱酵し痲痺を起しますから新鮮な物をとること、新鮮だと思つても蠅などがたかつてゐると傳染病の如くなります、夏はよく原因不明の下痢をくだしがありますが蠅などの病原が多いやうです（四）寝る前に飲食せぬこと（五）冷ひえせぬこと（ヴイタミン）を必要とします、これを缺乏すると食慾が出ることがあります、食慾のないときは無理にたべないで自然の食慾が出るのを待つことです酸味、辛いものなどは食慾を増すことがあります



赤ちゃんは斯うして育てるもの
入浴について
耳を蔽ふ時の手と指

お湯へは、まづ足の先から徐々に仰向けに寝かすやうにソッと入れる。赤ちゃんは頭でッかちだからくびさへ下から支へてゐれば、のどかに浮んでゐます。

赤ちゃんは仰向けの時はくびを支へたお母さんの左手のおや指で右の耳たぶ、他の四本のゆびで左の耳たぶを下から押あげ、これで耳の穴のふたをし湯が入らぬやうに氣をつけます左を下にして洗ふ時は左の耳、右を下にする時は右の耳をそれぞれこの要領で十分に防ぐわけです

このやり方が惡いと、つい耳にお湯をいれてしまつてミミダレになります、なかなか治りにくいばかりでなく、ついにはツンボになるやうなことがありますから、入浴をさせるときは、よく御注意ください。

第百二十六回

明暗（一）

看護婦の、佐藤院長の[illegible]って、[illegible]を[illegible]てし、[illegible]の[illegible]をむきほらんとしたが[illegible]に[illegible]ず、[illegible]たかとつ[illegible]となつた北上會[illegible]は、[illegible]と[illegible]とたえそはれ、心臓まひを起して敗ない[illegible]期をとげてしまつた。

[illegible]新聞紙上でこの[illegible]を知つた双葉は、再び[illegible]かたい[illegible]をしたもの々、さすがに[illegible]への[illegible]やみがたいものを[illegible]し、[illegible]からはるばるとかけつけた

しかし、時はすでにすぎ、[illegible]しがたい北上家の[illegible]をこしたのは[illegible]、すでに十二日をすぎでゐた。

「お父さん、まことに申しわけありません。母は、けつして、お父さんをおうらみ申すやうなことはみなんも持ちあはせません。母は北上家が、いつかはかうした[illegible]い運命にさうぐうすることを[illegible]してをりました。今になつては何も申し上げません。きつと、お父さんも北上家の[illegible]をよく[illegible]と思ひます。お父さん、これが北上家の[illegible]だらうと思ひます。母は[illegible]でもなんでもない個人です。お父さんの血をうけてゐるものは双葉一人です。その双葉が今は北上家からはなれて、[illegible]となつてしまひました。[illegible]も家も、何も彼も、北上家の所[illegible]一切のものが今人手に渡つてしまひました。これも[illegible]だらうと思ひますが、[illegible]の[illegible]（[illegible]）の[illegible]であります。[illegible]、[illegible]は[illegible]ません。[illegible]な[illegible]になつた[illegible]、今の[illegible]。[illegible][illegible]ありません。只、この後、双葉は北上家の[illegible]の一人として潔く、正しく生きのびて日本の女性としての、[illegible]をつくす[illegible]であります。どうぞ、やすらかに御[illegible]下さいまし」

[illegible]が[illegible]ようとしてゐるのに、北上家はまだ[illegible]の[illegible]にこだわつてゐた。

双葉は、[illegible]民江と[illegible]の百合子の[illegible]には目をもかさず、[illegible]の[illegible]の前に手を合はしてゐた。

「双葉さん、あんたはどうします、この家はもうよそのものですよ」

民江は双葉の背後から、なげかけるやうにいつた。

「どうします、といふことが分りませんけど、どんな[illegible]のことでせうか？」

双葉は民江の方に向きをかへて[illegible]と[illegible]ひかへした。

「この先、どうしますかといふことです」

民江は[illegible]にいつた。

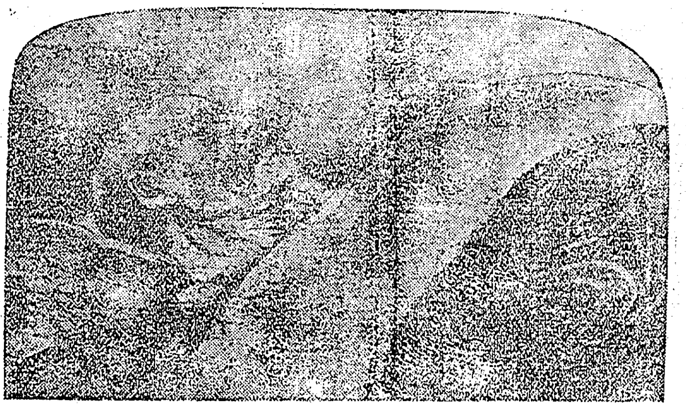
「この先はお父さんの[illegible]をすてて北上家の[illegible]をよくしようと[illegible]であります」

双葉は、民江のいひぐさに、いさゝか悲しみをおぼえ、[illegible]をじつて、[illegible]つてゐることゝは[illegible]ちがつたことをいつた。

「それは[illegible]ですよ、このほくは[illegible]られませんよ。人手に渡つたのですから」

「[illegible]してをります。[illegible]はすつかり[illegible]をしました。いいえ、[illegible]一さんから[illegible]らせてもなく、私はかうした[illegible]をたどる[illegible]、[illegible]でありました」

[illegible]



お醤油はヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
福島縣平市
釀造元 鹽屋
電話一〇 二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士 吉田久雄

開院
齒科全般
口腔外科
齒列矯正
平郵便局ウラ通リ
平市南町四十五
鈴木齒科醫院
東京齒科醫學士 鈴木與一郎

◇……出前迅速
御料理
"むぎとろ"
是非‼御試食下さい。……
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

外科一般　レントゲン科
内臓外科・泌尿器科
北川外科
平市新川町二七
醫學博士 北川芳夫
（電話四六四番）
◎晝夜診療・入院臨時・血液檢査毎日

是非！
御融通には御用命下さい簡單便利な御相談に應じます
公債、債券、貴物一般
三井質店
平・四　電話六〇六番

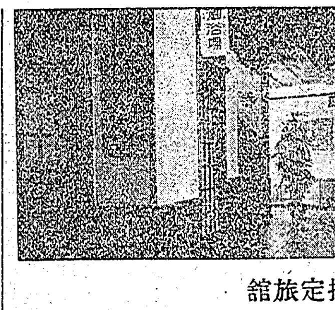
メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
玉屋　平市本町二丁目

洋品物は！
玉屋
平市田町
電六五六

新鰹節と"美味"しいうにの罐詰
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）
日本生命平代理店

内科外科一般
金成醫院
平市鍛冶町
金成忠義
電話三五八番

鐵道指定旅館
♨割烹 小瀧
小名濱電話一〇三番



銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、絲織の折角古き破れた足袋、靴下、メリヤス、シヤケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては、國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます
糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價 20錢 30錢
阿康藥局
平市古鍛冶町一〇
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

病室增築、手術室完備
醫學博士
産科婦人科 五十嵐雄二
平市新川町　電話三六九番

これは便利！
▼手を荒らさず
▼絹、毛織物、木綿、スフ生地を傷めず
▼つけておくだけで洗へるおちのよい
㊊マルミ粉末石鹸
電話（呼）四〇八番
製造元 平市材木町十一番地